

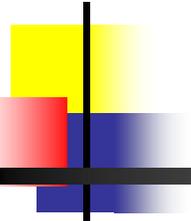
---

全国楽器協会  
「楽器・楽譜業界 E D I」

とパソコンで通信可能なソフト  
(全銀TCP/IP)のご紹介

2008年 5月

全国楽器協会情報活用委員会  
株式会社 ビック東海



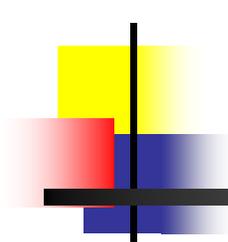
# 目次

---

1. 導入編	..... P.03
2. 運用編	..... P.37

※本資料はPCのOSがWindows2000、ブラウザがIE6. 0をベースに記載しております  
OSやバージョンによって、若干画面に違いがありますが、類似する項目にて設定を  
行って下さい。

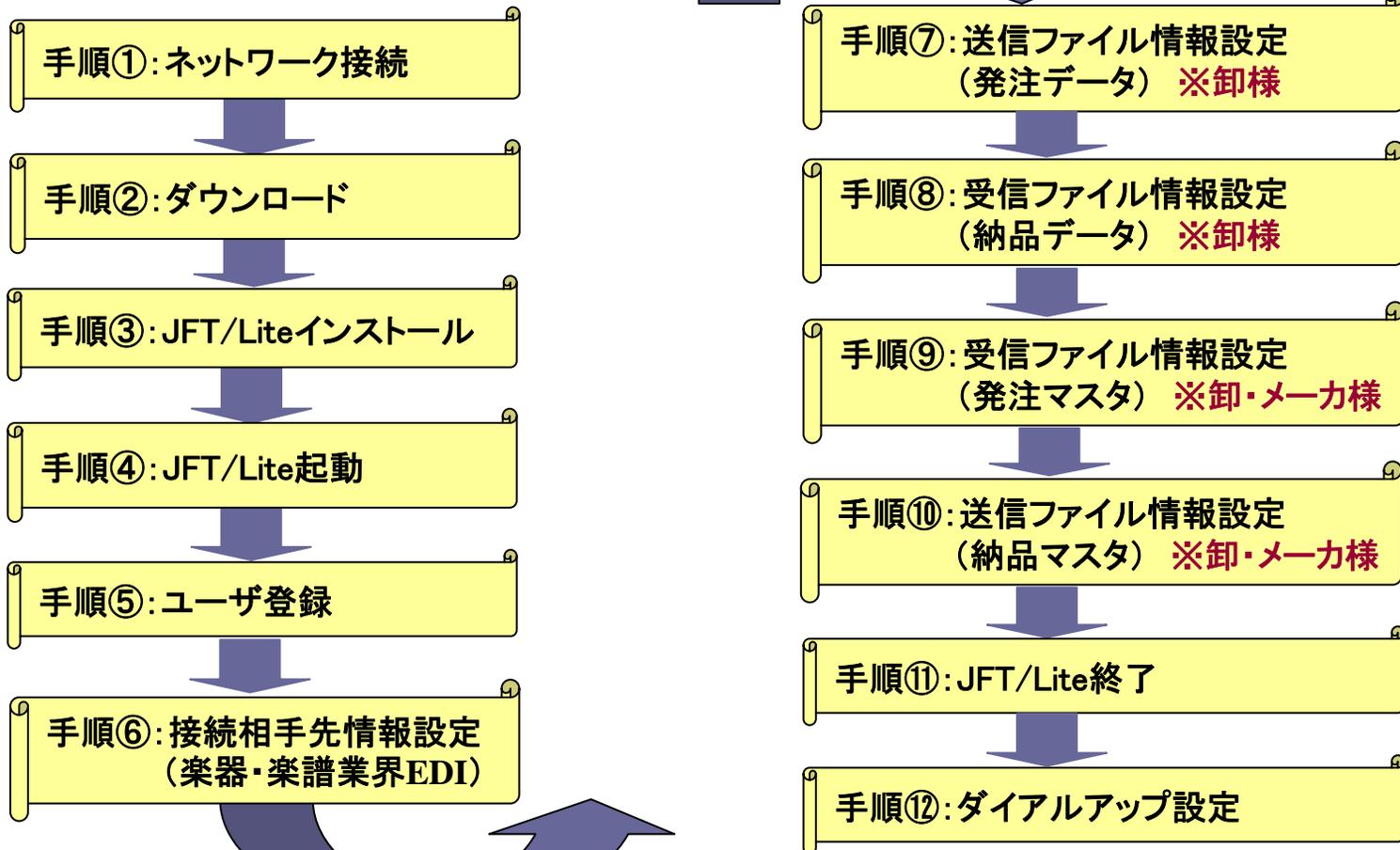
※本資料をご利用の前に、楽器・楽譜業界EDIセンタ利用通知書を必ずご用意下さい。  
楽器・楽譜業界EDIセンタ利用通知書は(株)NTTデータ殿より入手して下さい。



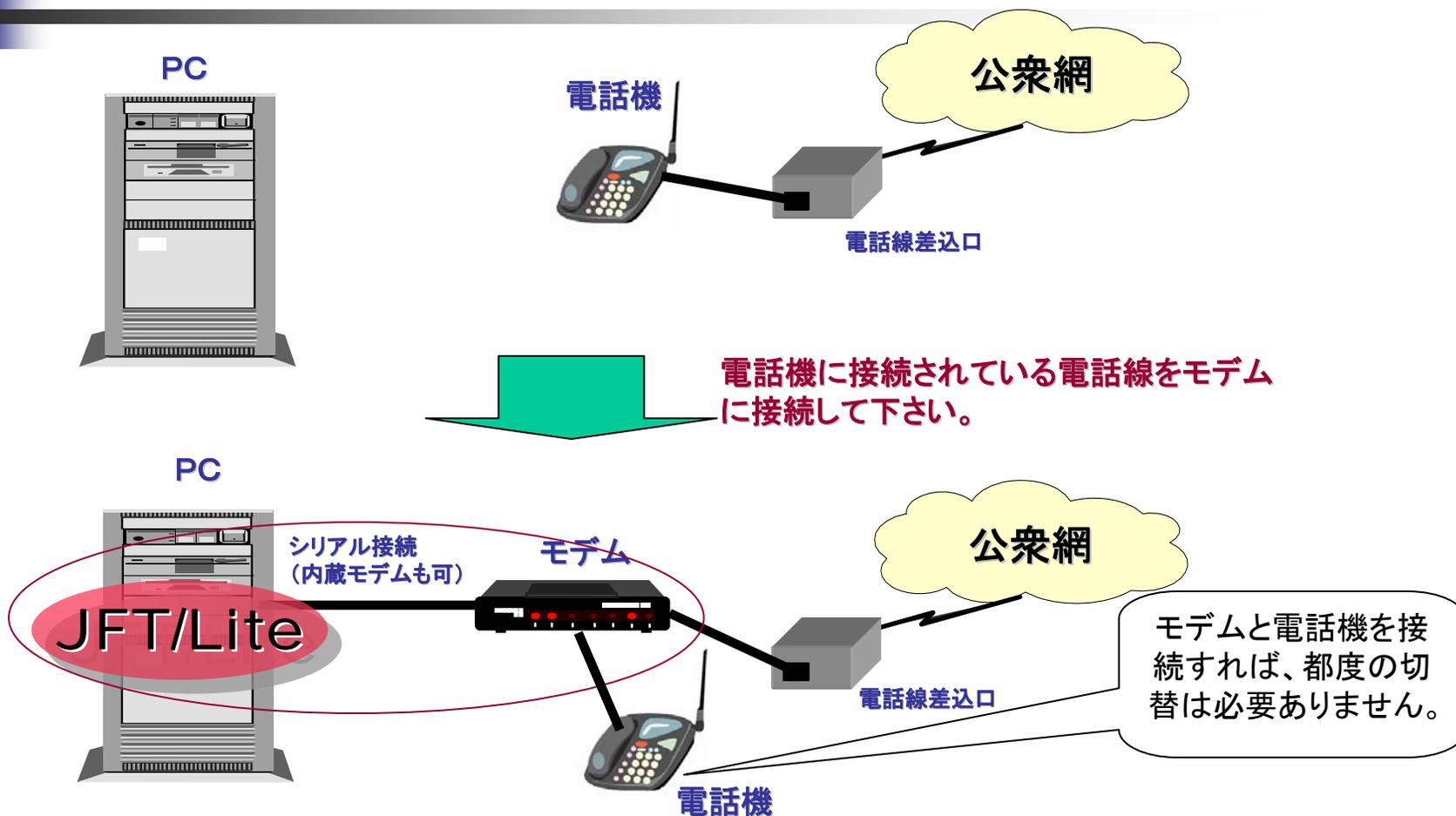
---

# 導入編

# 導入手順



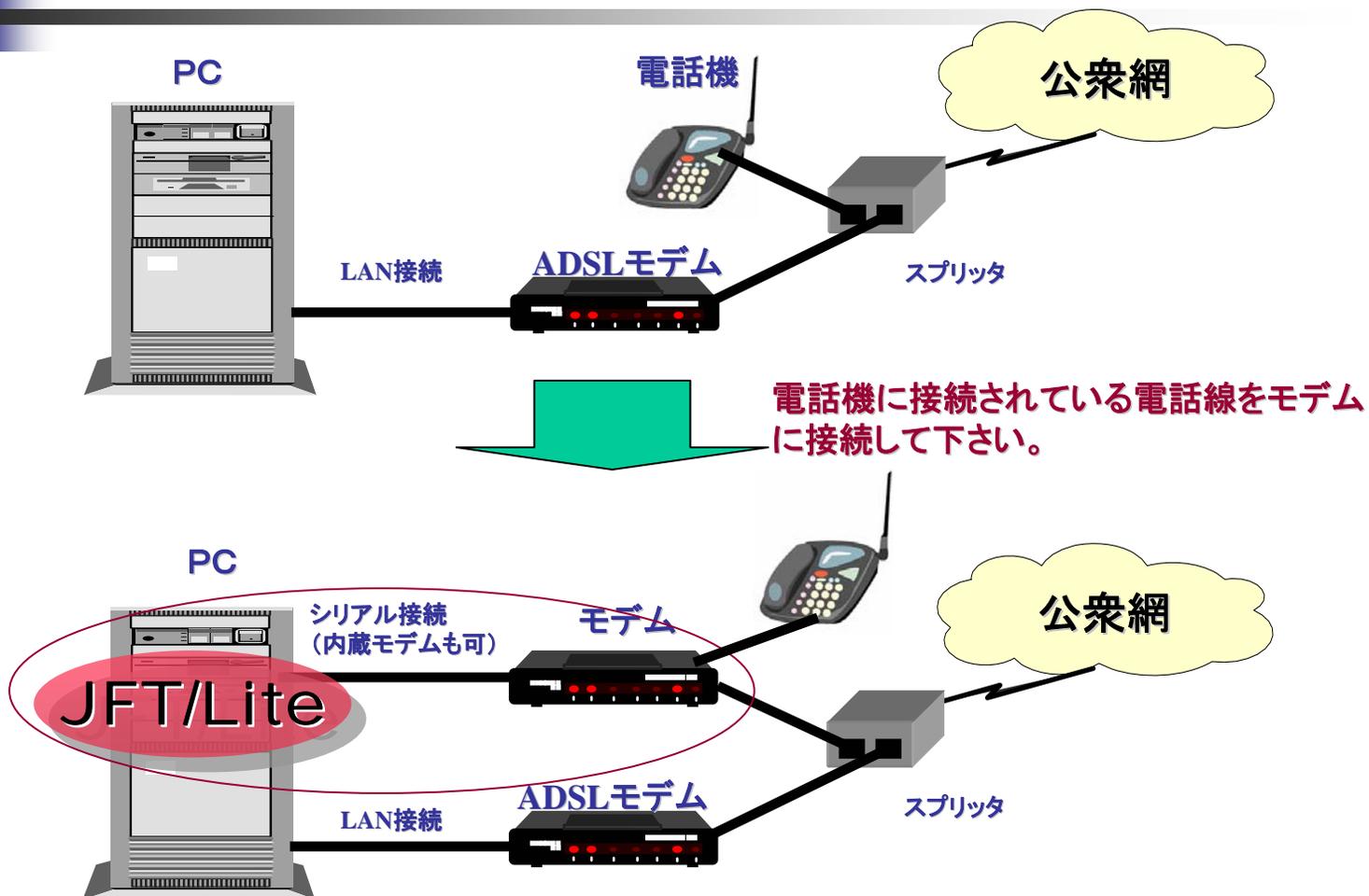
## ①-1. ネットワーク接続(通常の場合)



ダイヤルアップ接続を行う場合はモデムをご用意下さい。なお、PCにモデムが内蔵されている場合は別途ご用意いただく必要ありません。直接PCのモデムポートに接続して下さい。

(ダイヤルアップ接続中は電話機はご利用できません。)

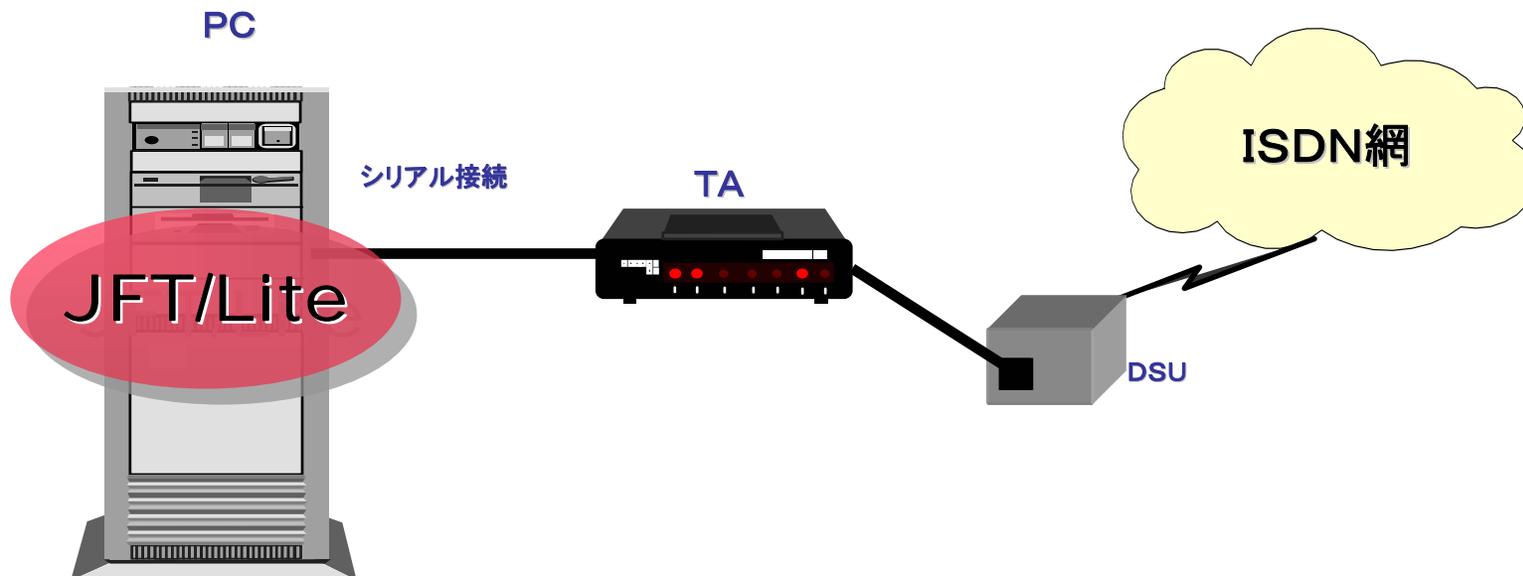
## ①-2. ネットワーク接続(ADSLをご利用中の場合)



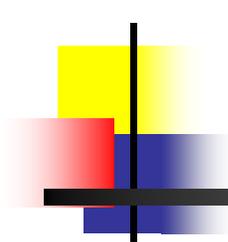
ADSLをご利用中の場合はモデムをご用意下さい。なお、PCにモデムが内蔵されている場合は別途ご用意いただく必要ありません。直接PCのモデムポートに接続して下さい。

(ダイヤルアップ接続中はADSLによるインターネット接続はご利用できません。)

## ①-3. ネットワーク接続(ISDN接続の場合)



ISDN接続の場合TAをご用意下さい。ご利用方法はモデム接続の場合と同じです。  
(TAとPCの接続方法につきましては、TAの取扱説明書をご参照下さい)



## ①-4. ネットワーク接続(その他の場合)

### ①構内交換機回線(内線電話をご利用の場合)

内線電話機のケーブルを外して、モデムに接続しても通信は行えません。  
FAX機器等に接続されている、外線電話回線を必ずご使用下さい。

### ②ISDNデジタル回線(ルータ接続をご利用の場合)

ダイヤルアップルータにより、接続を希望される方は、PC設定のほかにルータ側にも設定が必要となります。

(御社ネットワーク担当者様にご相談下さい)

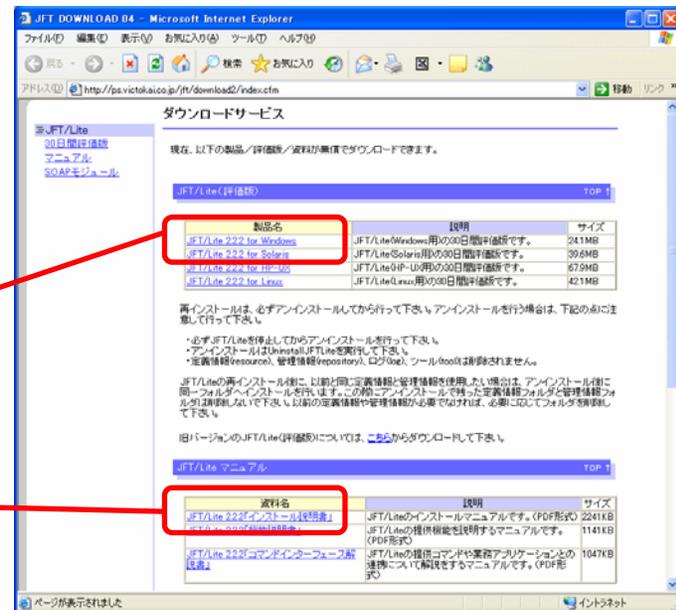
## ②-1. ダウンロード

最初にインターネットに接続して、下記URLのHPをご参照ください。

<http://www.pd-victokai.com/jft>



1. ダウンロードをお選びいただきますと、ダウンロード専用ページに移動します。



「JFT/Lite for Windows」  
をクリックします。

「インストール説明書」  
をクリックします。

※必要な場合プログラムのダウンロードの  
後で、実行してください。

## ②-2. ダウンロード

JFT/Lite評価版ダウンロード

製品/資料名: JFT/Lite Version 2.0.0 for Windows

※お名前:

※メールアドレス:

会社・組織名:

部署名:

都道府県:

市区町村・ビル名:

お電話番号:

ダウンロードへ

お客様情報の記入

2. 左図のダウンロードフォームにお客様情報を入力して頂きます。お名前とメールアドレスは必須項目となりますので必ず入力をお願いいたします。

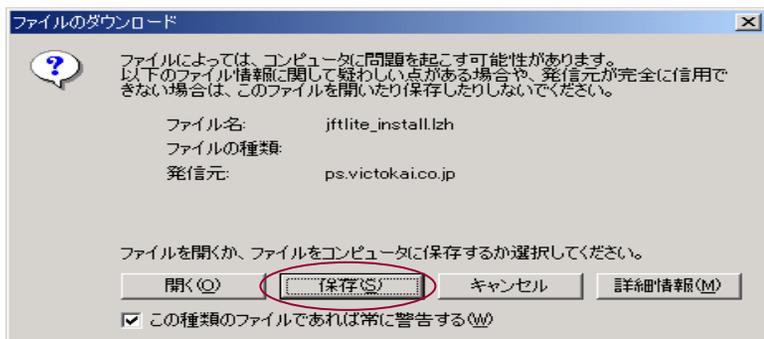
3. 入力後「ダウンロードへ」を押していただくと下図のページへ移行します。ダウンロードボタンを押して、次ページを参照下さい。

JFT/Lite評価版ダウンロード

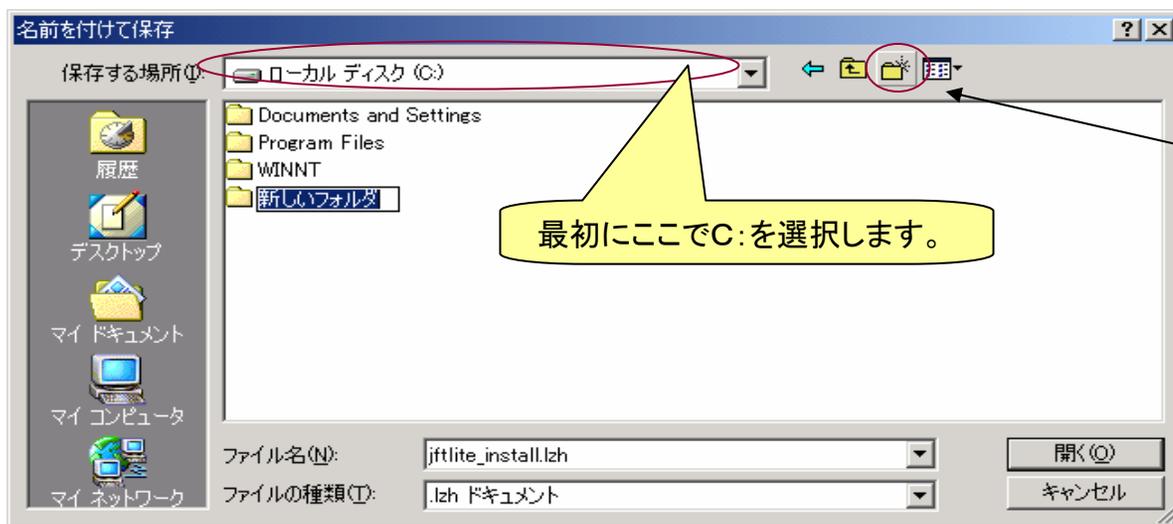
JFT/Lite Version 2.0.0 for Windows

説明	JFT/Lite (Windows用) の30日間評価版です。
サイズ	16.59MB
更新日	2002.09.06

## ②-3. ダウンロード

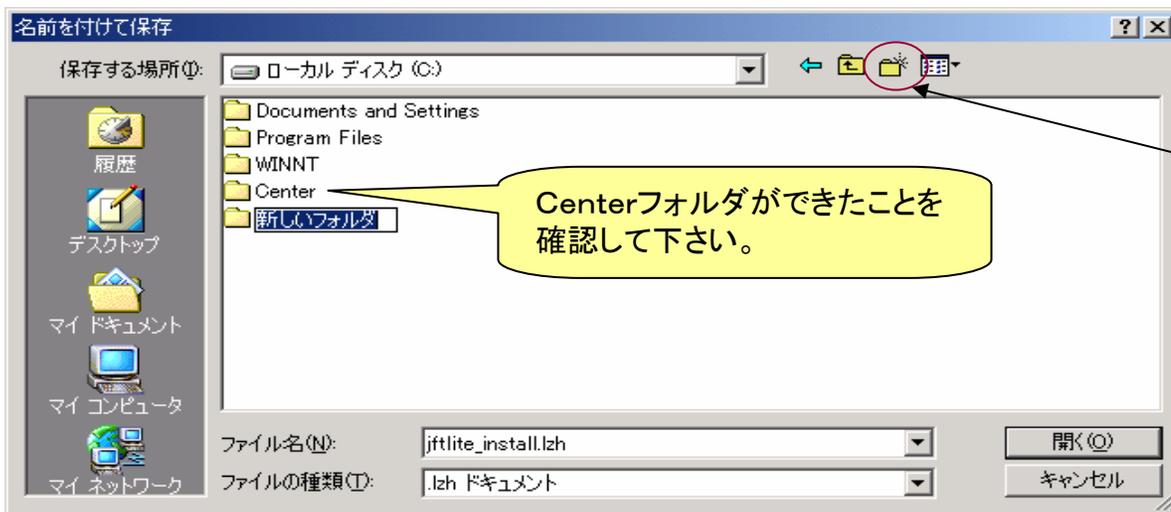


4. 左図のダイアログが出ますので、保存を押します。



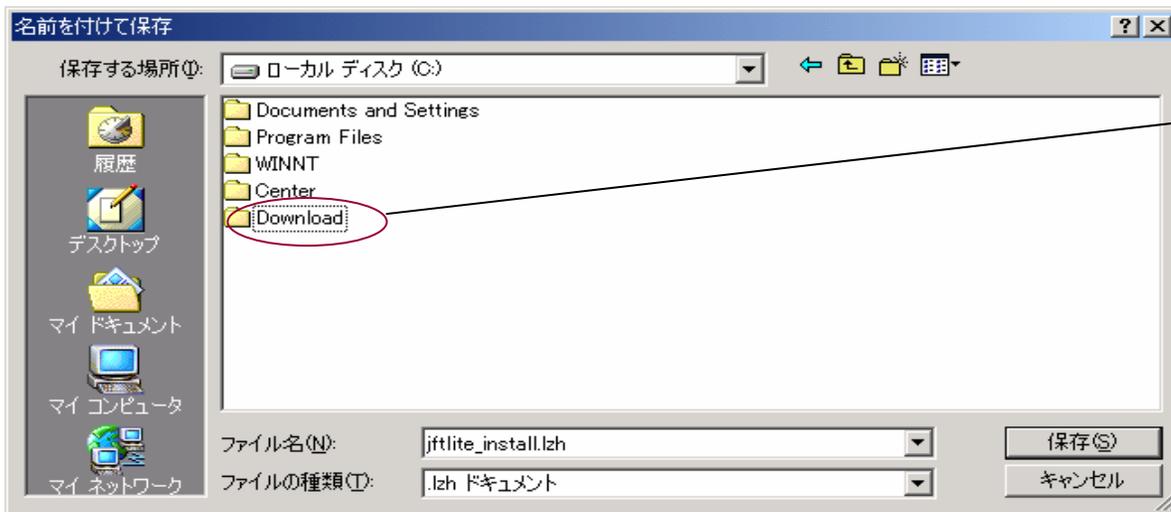
5. C:に移動後、このアイコンを押すと「新しいフォルダ」が作成されます。そのまま「Center」と入力して下さい。

## ②-4. ダウンロード



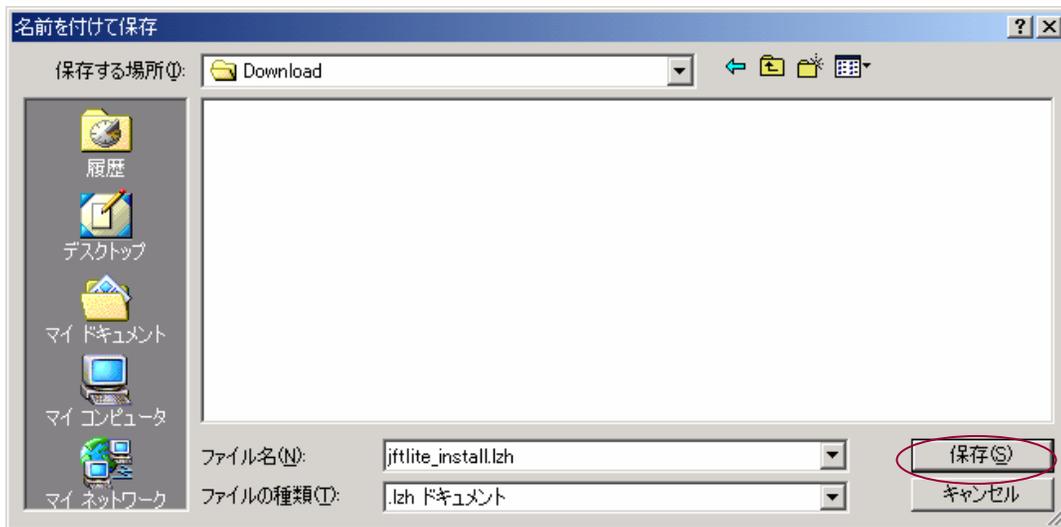
6. Centerフォルダできたことを確認後、再度アイコンを押すと「新しいフォルダ」が再度作成されます。そのまま「Download」と入力して下さい。

※Centerフォルダは後の24ページの設定で使用しますので、必ず作成しておいて下さい。

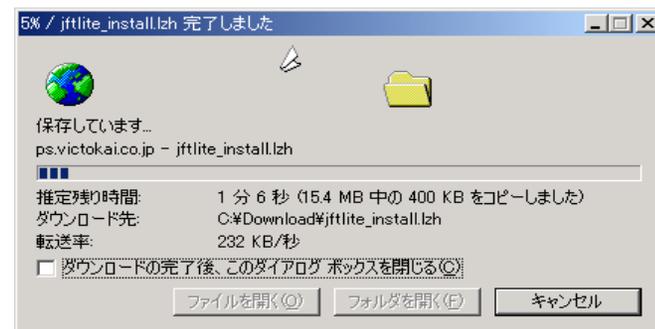


7. Downloadフォルダできたことを確認後、Downloadフォルダをダブルクリックして下さい。

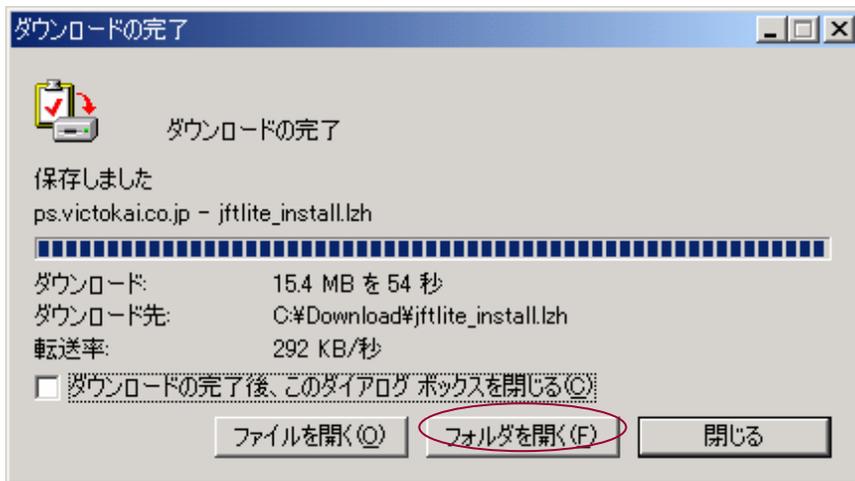
## ②-5. ダウンロード



8. 左図の画面になったら、保存を押して下さい。  
ダウンロードが開始されます。

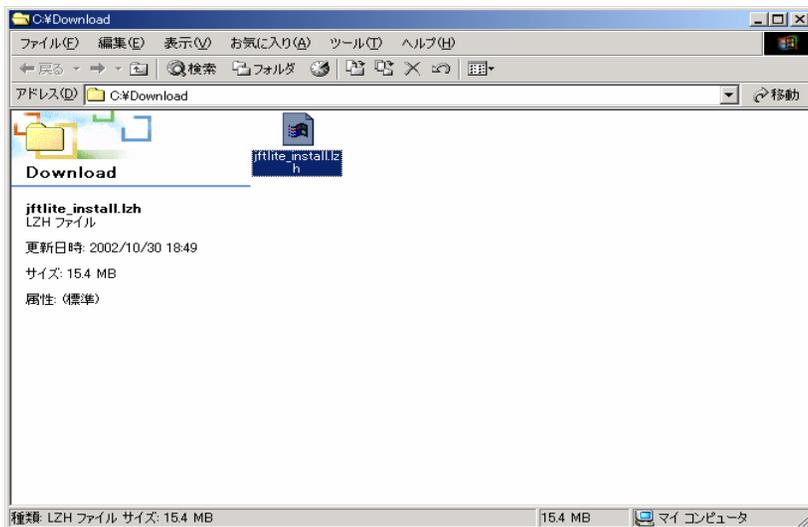


※ダウンロード時間は接続スピードにより変わってきます。  
ADSL640Kなら10分程度です。



9. ダウンロード完了後「フォルダを開く」を押して下さい。

## ②-6. ダウンロード

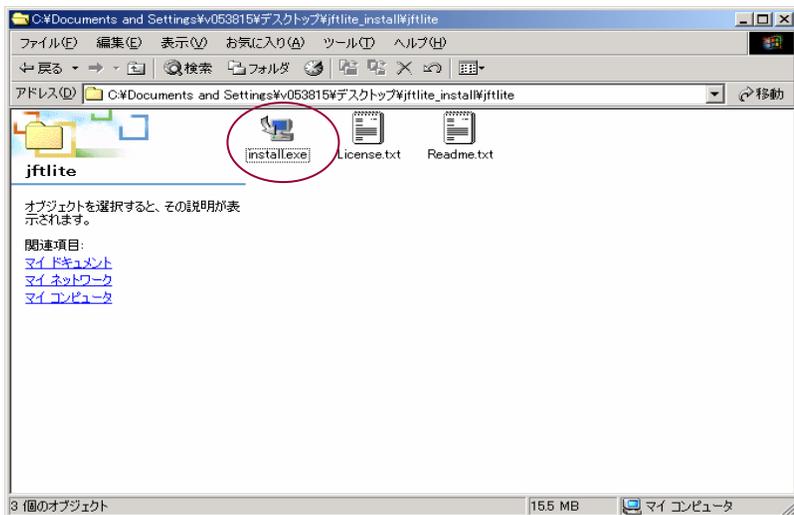


10. フォルダを開くと「jftlite\_install.lzh」というファイルが  
できています。  
ファイル解凍ツール(Lhasaなど)で解凍して下さい。

※解凍ツールが無い場合は下記URLで入手できます。

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se026842.html>

使用方法等は、解凍ツールのマニュアルをご参照下さい。  
(フリーソフトのためご利用はユーザー様の責任で行って下さい)

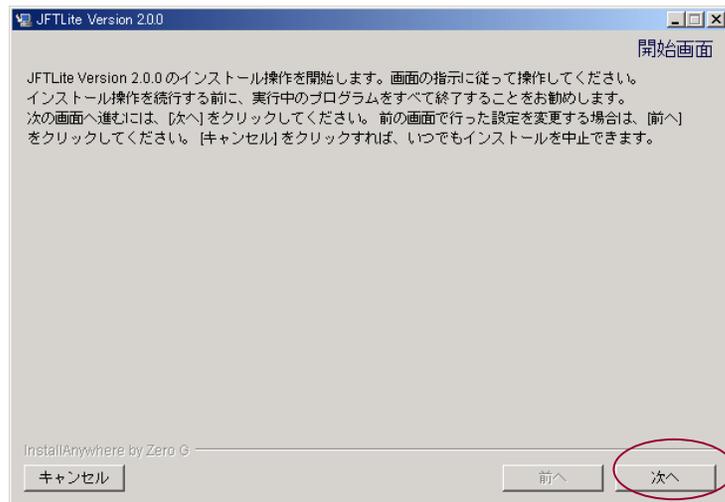


11. 解凍するとinstall.exeとReadme.txt、License.txtが  
展開されます。  
install.exeをダブルクリックし、インストール作業を  
行って下さい。

## ③-1. JFT/Lite インストール

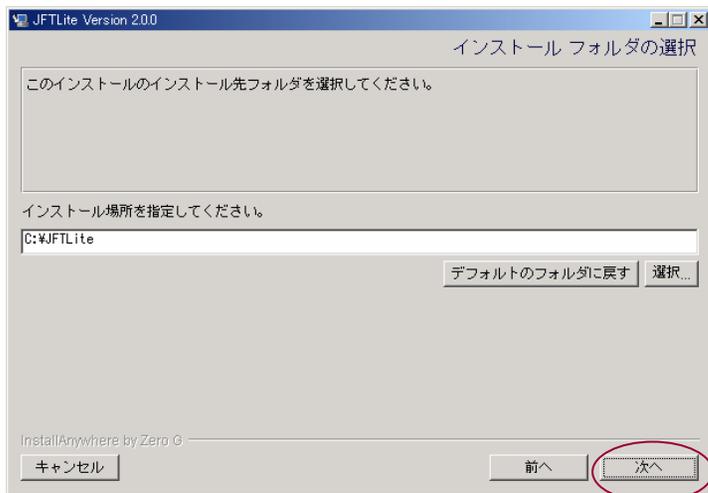


1. JFT/Liteのインストーラ(install.exe)を実行して下さい。  
※インストール準備が整うと左のような画面が表示されます。
2. 「OK」ボタンを押して下さい。

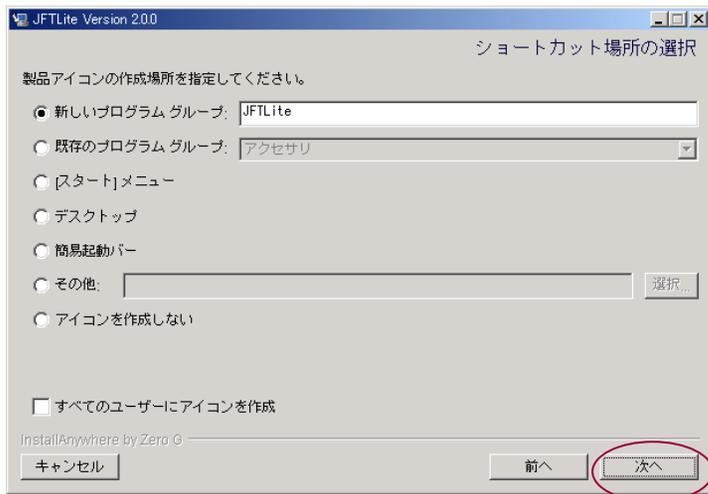


3. 「次へ」ボタンを押して下さい。

## ③-2. JFT/Lite インストール

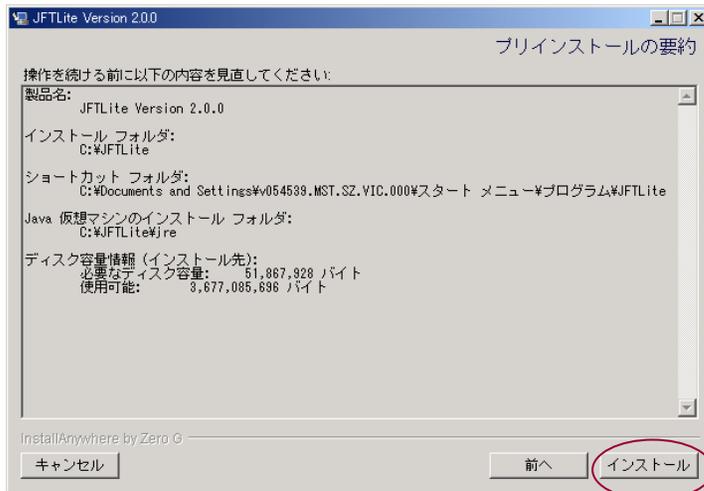


4. 「次へ」ボタンを押して下さい。  
C:¥JFTLiteにインストールします。  
※インストール場所を変更したい場合は参照ボタンを押してフォルダを選択して下さい。

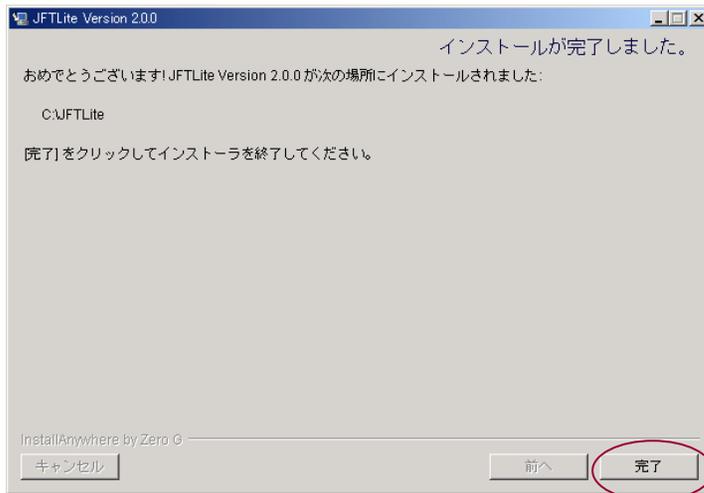


5. 「次へ」ボタンを押して下さい。  
※”新しいプログラムグループ“を選択します。

### ③-3. JFT/Lite インストール



6. 「インストール」ボタンを押して下さい。  
※インストールを開始します。

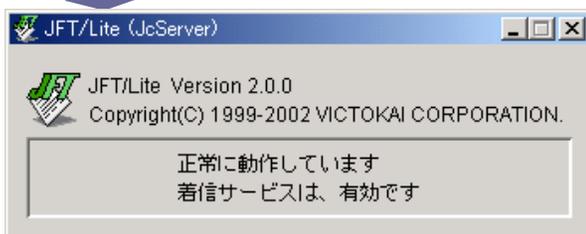


7. 「完了」ボタンを押して下さい。  
※インストールを終了します

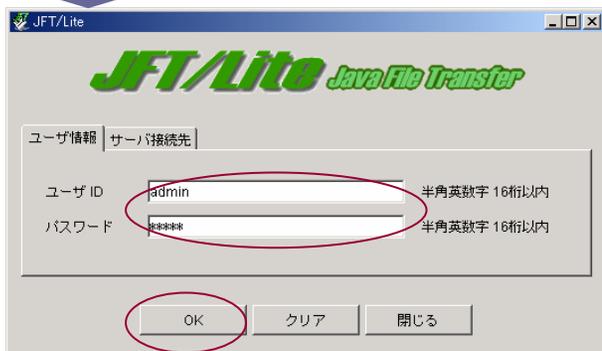
## ④ . JFT/Lite 起動(JFT/Lite初期設定の開始)



JcServer



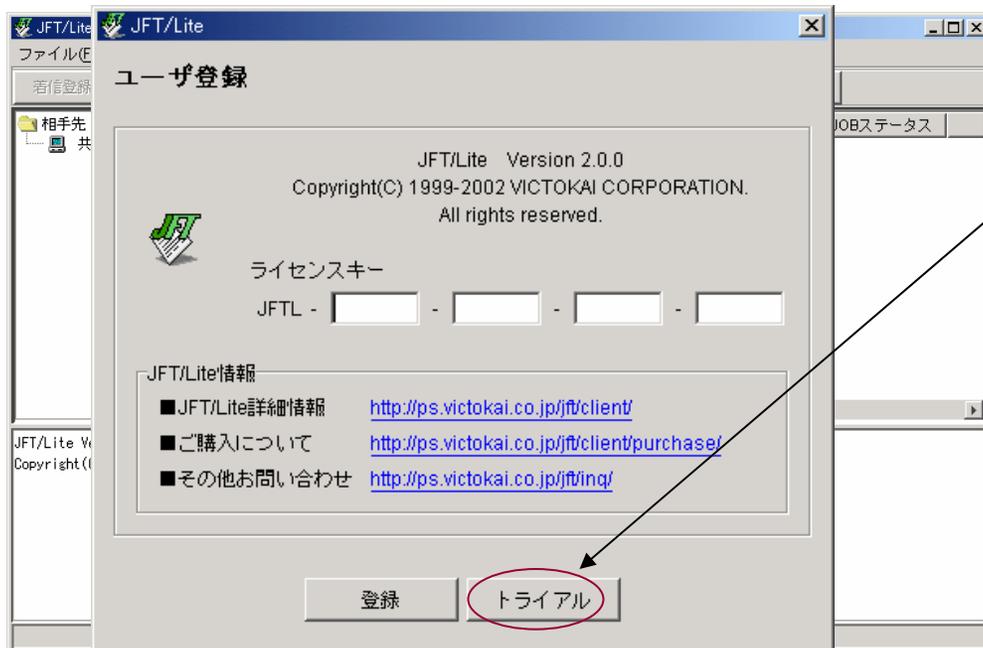
JcMonitor



1. デスクトップ(画面)上の「JcServer」アイコンをダブルクリックして下さい。  
※アイコンはデスクトップ上にあります。  
※左のようなダイアログが表示されます。表示されない場合は、タスクバーを確認して下さい。

2. デスクトップ上の「JcMonitor」アイコンをダブルクリックして下さい  
※アイコンはデスクトップ上にあります。  
※左のようなダイアログが表示されます。
3. ユーザIDに”admin”、パスワードに”admin”を入力し「OK」ボタンを押します。  
(半角入力です)

## ⑤-1. ユーザ登録(トライアルの場合)



ユーザ登録画面が出たら、「トライアル」ボタンを押して下さい。  
この時点でライセンスキーの入力は必要ありません。

※トライアルは30日間限定となります。

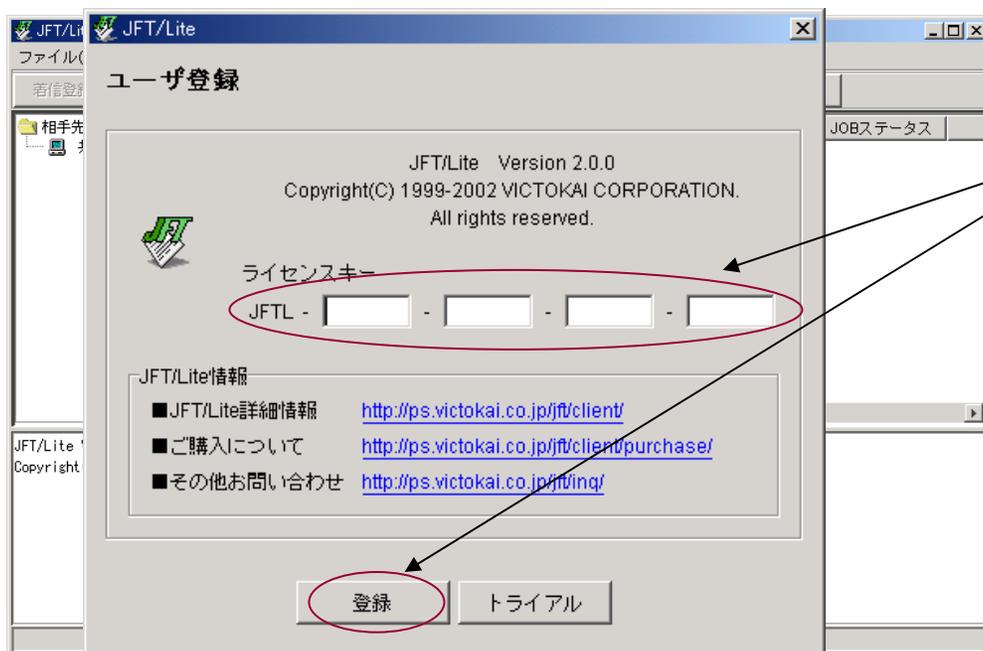
30日以内にライセンスキーを取得していただき、ユーザ登録を行って下さい。

※30日以内にユーザ登録を行わない場合は使用できなくなりますのでご注意ください。

トライアルでのご利用中は、JFT/Lite起動時に毎回このユーザ登録画面がでてきます。

ユーザ登録後はこの画面は出てきません。

## ⑤-2. ユーザ登録(ライセンスキーを取得した場合)



弊社よりライセンスキーを取得された場合、ライセンスキーを入力し「登録」ボタンを押します。  
これでユーザ登録は完了です。

※ライセンスキーの取得方法につきましては、  
57ページをご参照下さい。

※トライアル実行日から30日間過ぎていた場合は、JFT/Liteを最初にアンインストールし、再度インストールから行っていただきます。  
(初期設定も再度行う必要があります)

トライアル期間中(30日以内)にユーザ登録を行っていただければ、再設定の必要はなく、そのままご利用いただけます。

ライセンスキーの取得には数日かかりますので、早めに行ってください。

## ⑥-1. 接続相手先情報設定 (楽器・楽譜業界EDI)

“相手先”を右クリックして「新規作成」→「相手先」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「接続情報」の2画面について設定を行います。

## ⑥-2. 接続相手先情報設定(楽器・楽譜業界EDI)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	相手先名	楽器・楽譜業界EDI
全銀手順	相手センタコード	利用通知書の12番「相手センタ確認コード」 ※HEX入力(右にあるHEXを指定して下さい)
	当方センタコード	利用通知書の13番「当方センタ確認コード」 ※HEX入力(右にあるHEXを指定して下さい)
	全銀パスワード	利用通知書の14番「パスワード」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	手順タイプ	利用登録依頼書の9番「全銀プロトコル伝送手順」
接続情報	IPアドレス1	利用通知書の7番「接続先IPアドレス」
	マルチファイル	無効
	再送区分	有効
	ファイル成立タイミング	ファイル単位
	最大テキスト長	1797
	MAXリトライ回数	0
	リトライインターバル	3

## ⑦-1. 発注データ送信ファイル情報設定 (卸様でメーカー様へ発注を行う場合)

“配信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※**タブ**を押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

## ⑦-2. 発注データ送信ファイル情報設定 (卸様でメーカー様へ発注を行う場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	発注データ送信
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コード(発注データ)」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	128
	物理ファイル名	C:\¥Center¥haccyu_send.txt

※送信する際に予め C:\¥Centerフォルダ に haccyu\_send.txt という名前で、送信するファイルを保存しておく必要があります。

## ⑧-1. 納品データ受信ファイル情報設定 (卸様で納品データを受領する場合)

“集信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※**タブ**を押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

## ⑧-2. 納品データ受信ファイル情報設定 (卸様で納品データを受領する場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	納品データ受信
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コード(納品データ)」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	128
	物理ファイル名	C:¥Center¥nouhin_recv.txt

※上記設定で C:¥Center フォルダに nouhin\_recv.txt という名前で、受信したファイルが保存されます。

## ⑨-1. 発注データ受信ファイル情報設定 (卸・メーカー様で発注データを受領する場合)

“集信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※**タブ**を押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

## ⑨-2. 発注データ受信ファイル情報設定 (卸・メーカー様で発注データを受領する場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	発注データ受信
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コード(発注データ)」※ 半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル 属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	128
	物理ファイル名	C:¥Center¥haccyu_recv.txt

※上記設定で C:¥Center フォルダに haccyu\_recv.txt という名前で、受信したファイルが保存されます。

# ⑩-1. 納品データ送信ファイル情報設定 (卸・メーカー様で楽器店・卸様に納品を行う場合)

“配信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

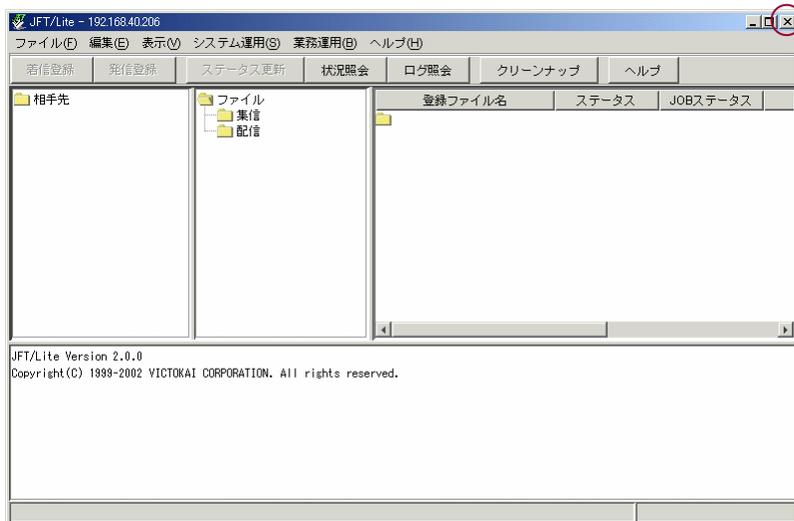
※**タブ**を押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

## ⑩-2. 納品データ送信ファイル情報設定 (卸・メーカー様で楽器店・卸様へ納品を行う場合)

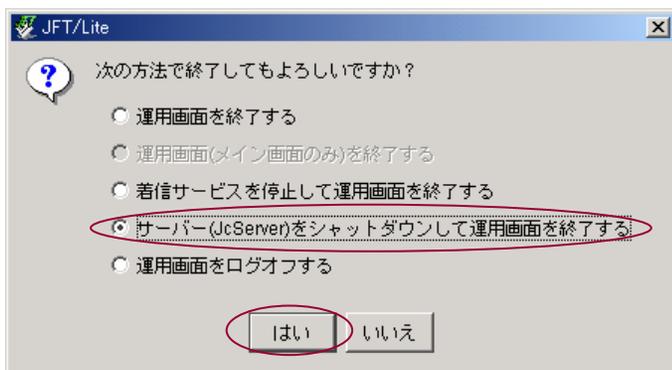
タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	納品データ送信
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コード(納品データ)」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	128
	物理ファイル名	C:¥Center¥nouhin_send.txt

※送信する際に予め C:¥Centerフォルダに nouhin\_send.txt という名前で、送信するファイルを保存しておく必要があります。

## ⑪. JFT/Lite設定の完了

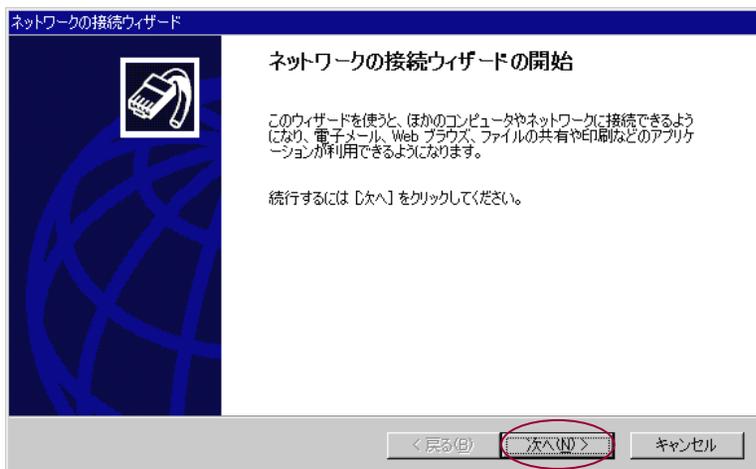


1. ウィンドウ右上の「×」を押して下さい。

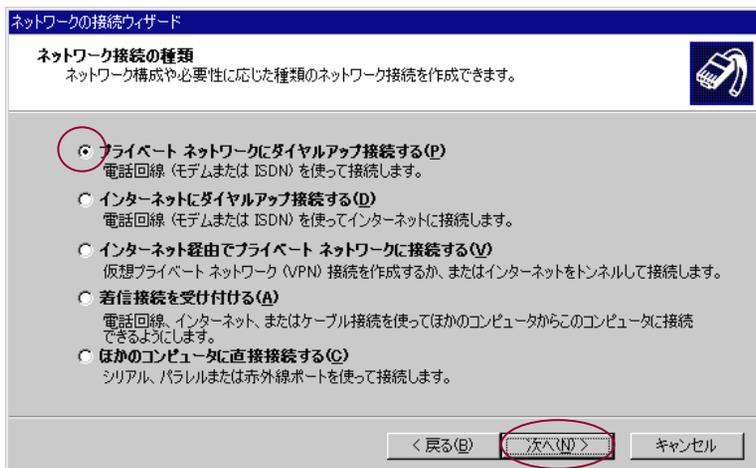


2. “サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する”を選択して「はい」ボタンを押して下さい。  
※”サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する“を選択せずに終了してしまった場合は、Windowsの「スタート」メニューから「スタート」→「プログラム」→「JFTLite」→「Stop JcServer」を選択して下さい。

## ⑫-1. ダイアルアップの設定



1. Windowsのスタートメニューから「スタート」→「設定」→「ネットワークとダイアルアップ接続」→「新しい接続の作成」を選択して下さい。
2. 「次へ」ボタンを押して下さい。



3. “プライベートネットワークにダイアルアップ接続する”を指定して下さい。
4. 「次へ」ボタンを押して下さい。

## ⑫-2. ダイヤルアップの設定

ネットワークの接続ウィザード

**ダイヤルする電話番号**  
接続先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を指定してください。

接続する先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を入力してください。コンピュータにほかの場所からのダイヤル方法を自動的に判断させるには、「ダイヤル情報を使う」チェックボックスをオンにします。

市外局番(A):  電話番号(B):

国番号/地域番号(C):

ダイヤル情報を使う(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

ネットワークの接続ウィザード

**接続の利用範囲**  
新しい接続をすべてのユーザー用、または自分専用指定できます。

この接続をすべてのユーザー用または自分専用指定できます。自分専用のプロファイルに格納した接続は、あなたがログオンしたときだけ利用できます。

この接続を利用できるユーザーを指定してください。

すべてのユーザー(E)  
 自分のみ(F)

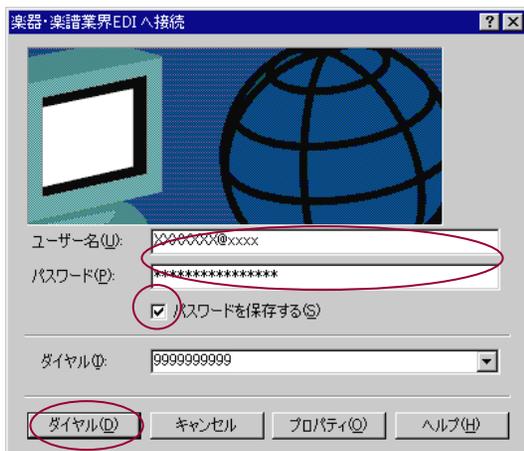
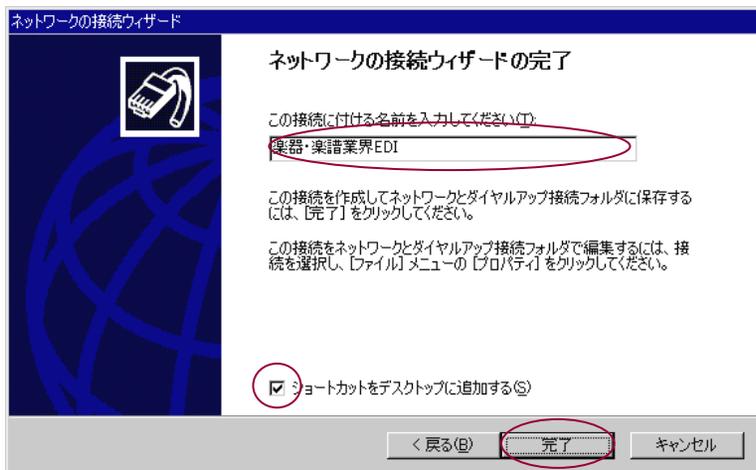
< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

5. 電話番号に利用通知書の5番「アクセスポイント地区、回線番号」を入力して下さい。

6. 「次へ」ボタンを押して下さい。

7. 「次へ」ボタンを押して下さい。

## ⑫-3. ダイアルアップの設定



8. 名前を“楽器・楽譜業界EDI”と入力して下さい。

9. “ショートカットをデスクトップに追加する”をチェックして下さい。

10. 「完了」ボタンを押して下さい。

11. ユーザ名に利用通知書の8番「ユーザID」を入力して下さい。

12. パスワードに利用通知書の9番「パスワード」を入力して下さい。

13. パスワードを保存するをチェックして下さい。

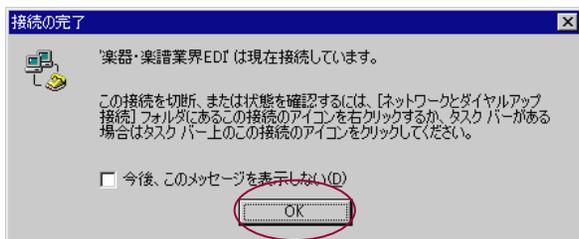
14. 「ダイヤル」ボタンを押して下さい。

## ⑫-4. ダイヤルアップの設定



### 15. 接続の確認を行います。

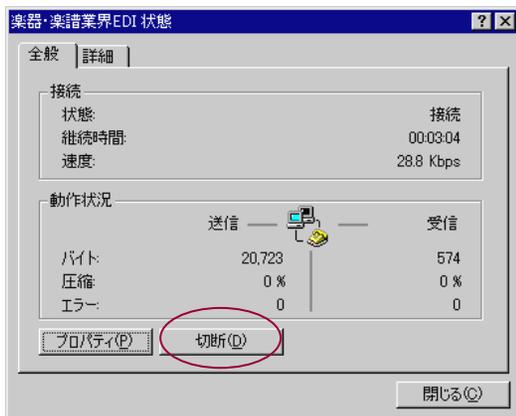
※接続エラーになった場合は、もう一度設定を確認して下さい。



### 16. 接続が完了すると、左のようなダイアログが表示される場合がありますので「OK」ボタンを押して下さい。

※タスクバー上にこの接続のアイコンが表示されます。

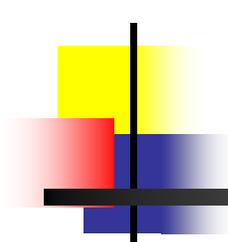
## ⑫-5. ダイヤルアップの設定



17. 切断する場合は、タスクバー上のこの接続のアイコン  をクリックして下さい。

18. 「切断」ボタンを押して下さい。

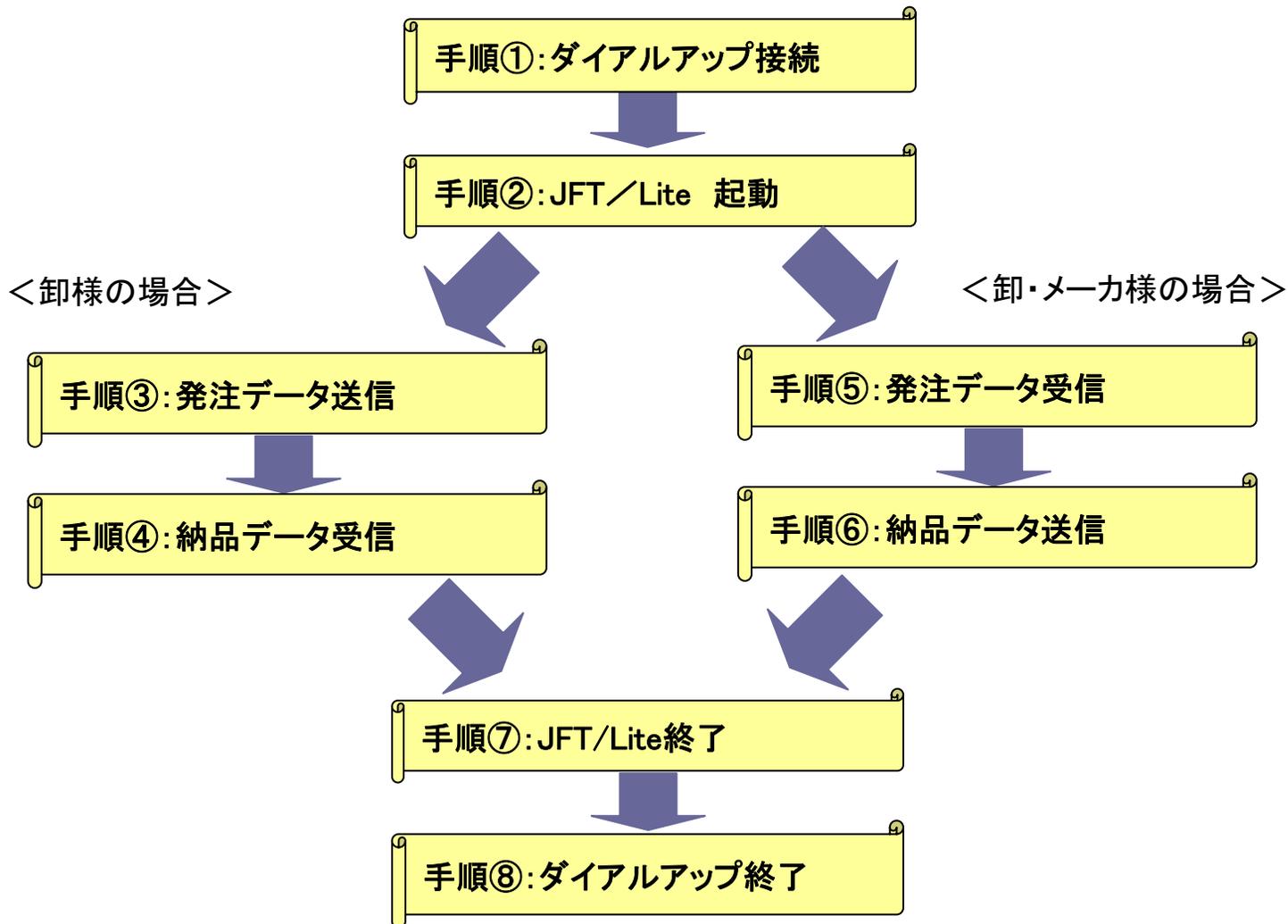
19. ご苦労様でした。



---

# 運用編

# 運用手順



## ①-1. ダイアルアップ接続方法



楽器・楽譜業界EDI



楽器・楽譜業界EDIへ接続

ユーザー名(U):

パスワード(P):

パスワードを保存する(S)

ダイヤル(D):

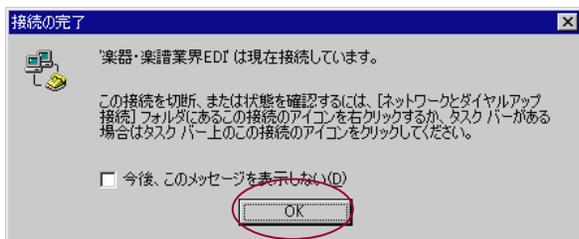
1. デスクトップ上の楽器・楽譜業界EDIのアイコンをダブルクリックして下さい。

2. ユーザー名、パスワード、ダイヤルを確認してから「ダイヤル」ボタンを押して下さい。  
※設定内容は利用通知書でご確認下さい。

## ①-2. ダイヤルアップ設定



3. 接続を行っています。



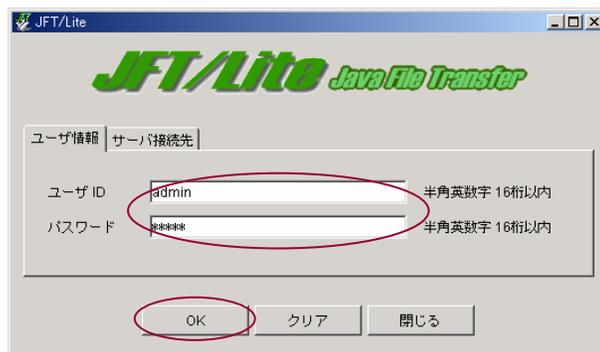
4. 接続が完了すると、左のようなダイアログが表示される場合がありますので「OK」ボタンを押して下さい。

※タスクバー上にこの接続のアイコン  が表示されます。

## ②. JFT/Lite 起動

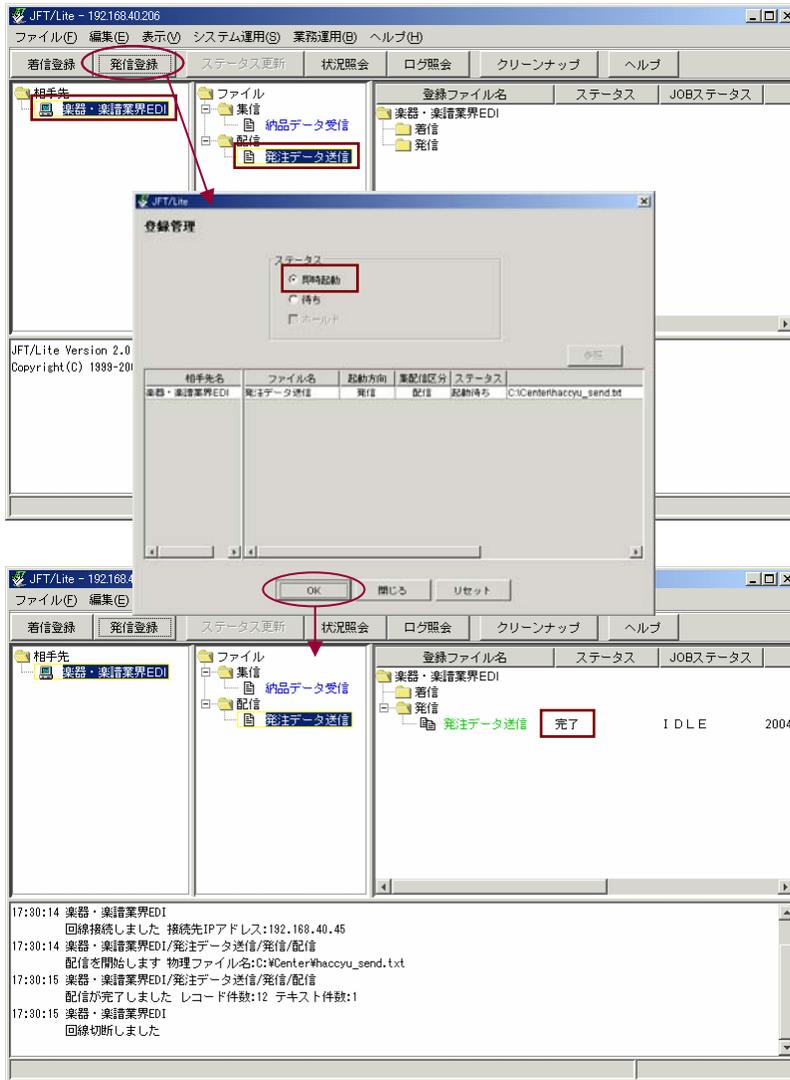


1. デスクトップ上の「JcServer」アイコンをダブルクリックして下さい。  
※アイコンはデスクトップ上にあります。  
※左のようなダイアログが表示されます。表示されない場合は、タスクバーを確認して下さい。



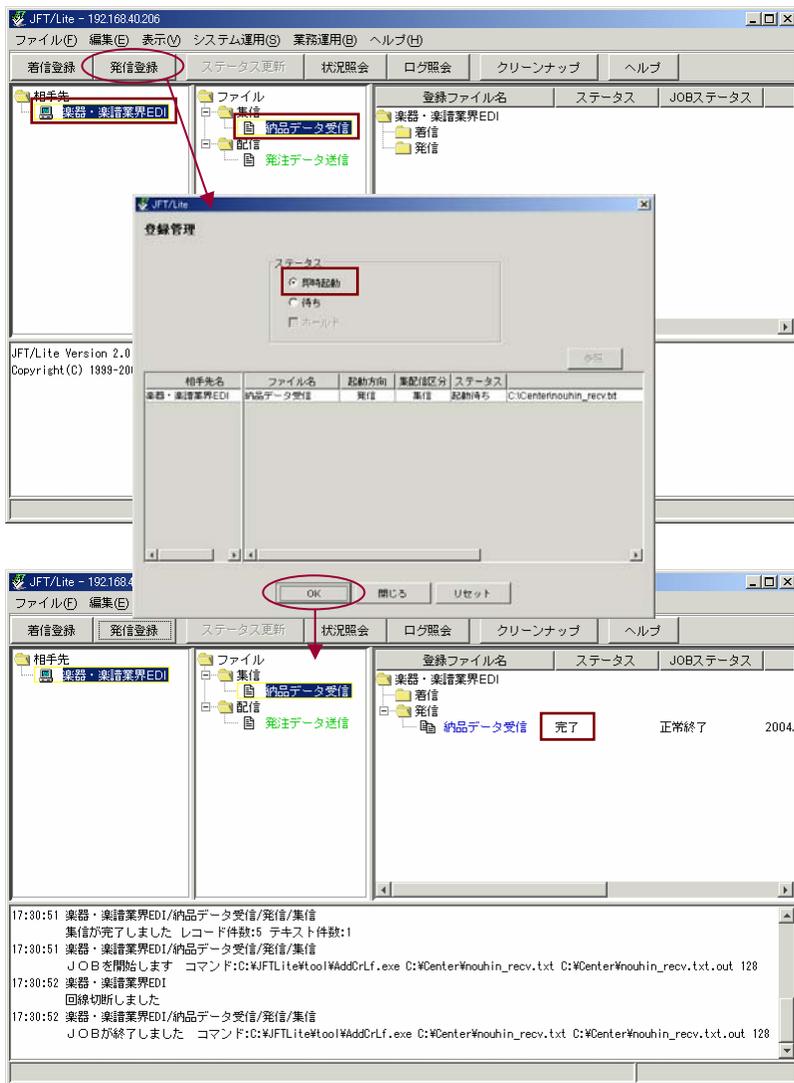
2. デスクトップ上の「JcMonitor」アイコンをダブルクリックして下さい  
※アイコンはデスクトップ上にあります。  
※左のようなダイアログが表示されます。
3. ユーザIDに”admin”、パスワードに”admin”を入力し「OK」ボタンを押します。  
(半角入力です)

### ③. 発注データ送信方法 (卸様が、メーカー様に対して発注を行う場合)



1. 送信する前に送信ファイルをC:\¥Centerフォルダにhaccyu\_send.txtという名前で保存して下さい。
2. “楽器・楽譜業界EDI”と“発注データ送信”を選択して「発行登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 「ステータス」エリアにて、送信が正常に終了したことを確認して下さい。  
※ステータスが「完了」の場合、正常終了しています。

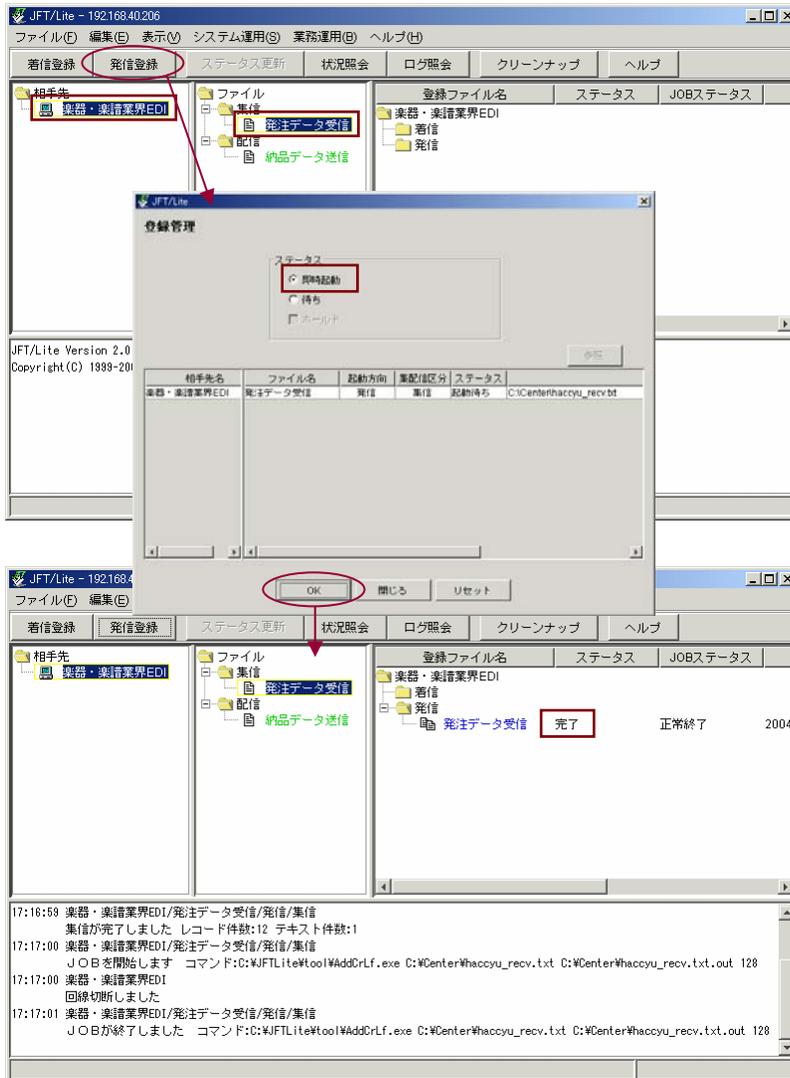
## ④. 納品データ受信方法 (卸様が、メーカー様より納品データを受領する場合)



1. 受信する前にC:\Centerフォルダに nouhin\_recv.txtという名前のファイルが無いことを確認して下さい。
2. “楽器・楽譜業界EDI”と“納品データ受信”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 「ステータス」エリアにて、送信が正常に終了したか確認して下さい。  
※ステータスが「完了」の場合、正常終了しています。
5. 受信したファイルは、ファイル情報で指定したC:\Centerフォルダに nouhin\_recv.txtの名前で保存されます。  
※再度発信登録を行うと当ファイルを上書きしますので注意して下さい。

## ⑤. 発注データ受信方法

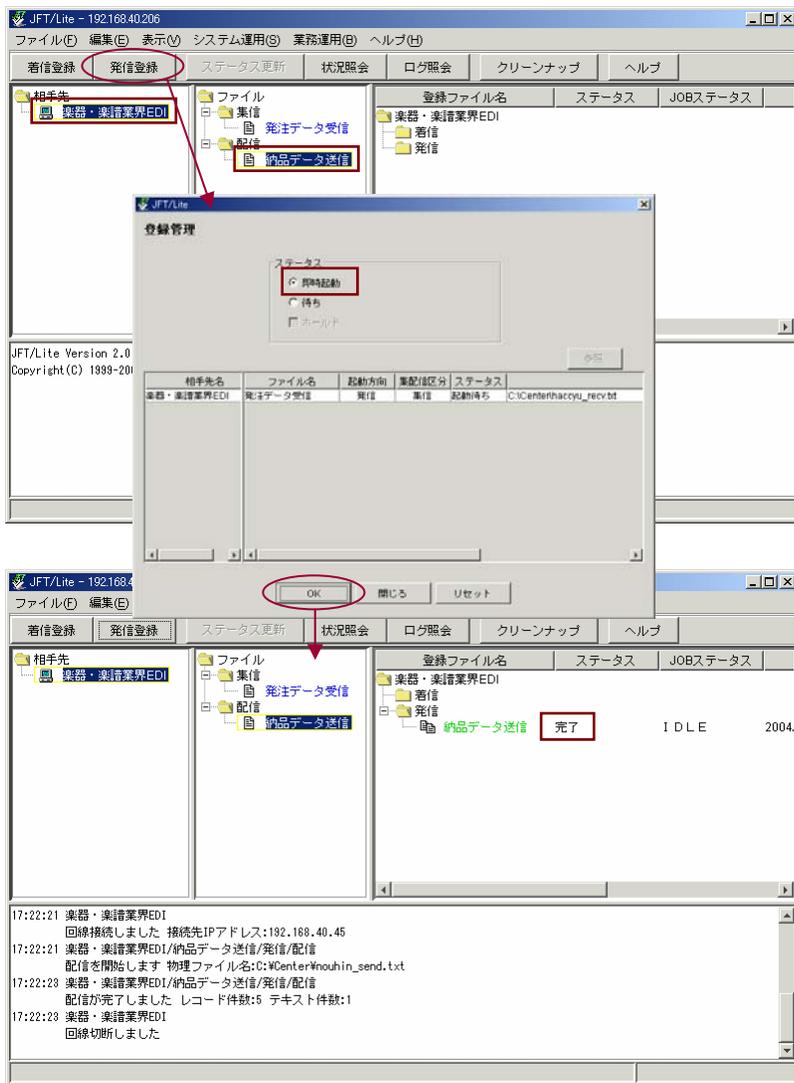
(卸・メーカー様が、楽器店・卸様より発注データを受領する場合)



1. 受信する前にC:\¥Centerフォルダにhaccyu\_recv.txtという名前のファイルが無いことを確認して下さい。
2. “楽器・楽譜業界EDI”と“発注データ受信”を選択して「発行登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 「ステータス」エリアにて、送信が正常に終了したか確認して下さい。  
※ステータスが「完了」の場合、正常終了しています。
5. 受信したファイルは、ファイル情報で指定したC:\¥Centerフォルダにhaccyu\_recv.txtの名前で保存されます。  
※再度発行登録を行うと当ファイルを上書きしますので注意して下さい。

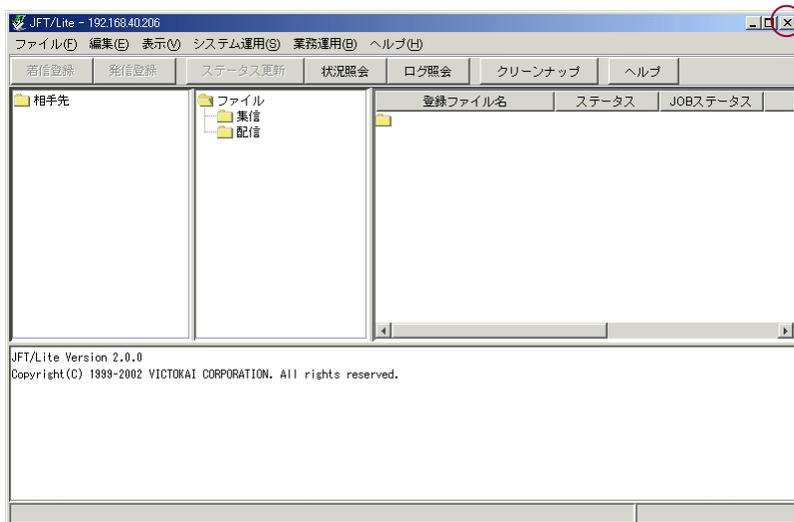
## ⑥. 納品データ送信方法

(卸・メーカー様が、楽器店・卸様に対して納品データ送信を行う場合)

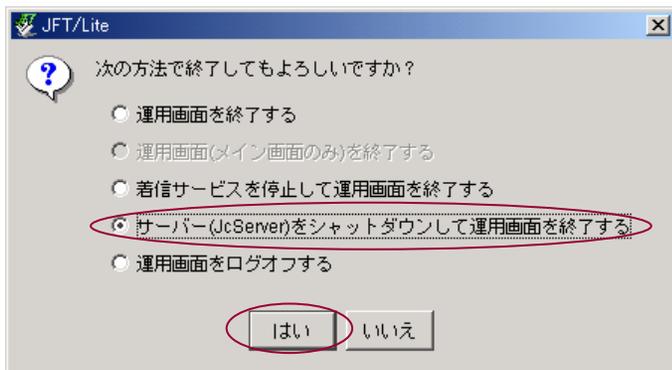


1. 送信する前に送信ファイルをC:\¥Centerフォルダにnouhin\_send.txtという名前で保存して下さい。
2. “楽器・楽譜業界EDI”と“納品データ送信”を選択して「発行登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 「ステータス」エリアにて、送信が正常に終了したことを確認して下さい。  
※ステータスが「完了」の場合、正常終了しています。

## ⑦. JFT/Liteプログラムの終了



1. ウィンドウ右上の「×」を押して下さい。



2. “サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する”を選択して「はい」ボタンを押して下さい。

※”サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する“を選択せずに終了してしまった場合は、Windowsの「スタート」メニューから「スタート」→「プログラム」→「JFTLite」→「Stop JcServer」を選択して下さい。

## ⑧. ダイアルアップの終了



1. 切断する場合は、タスクバー上の接続アイコン  をクリックして下さい。
2. 「切断」ボタンを押して下さい。

※データファイルの送受信が終了後、必ず上記切断作業を行って下さい。

切断作業を行うまで、電話料金が加算されておりますので、ご注意下さい。

## データファイルについて

受発注データ、納品データとも固定長128バイトのテキスト形式ファイルとなります。  
メモ帳等のテキストエディタで、参照することは可能です。  
データファイルを手動で作成するにはExcelでフォーマット通りに入力後、マクロを用いて  
128バイトのテキストファイルに変換するツール(VBA)をご提供しております。  
(ユーザ様の業務ホストでデータファイルを作成される場合は必要ありません)  
なお、受信したデータファイルの取込については、Excelで確認できる簡易ツールをご提供  
しております。また、受信したデータファイルを、レコード長毎に改行コードを付加する機能も  
ツールとしてご提供しております。

**※本サービスの詳細な内容は、楽器・楽譜業界EDIの概要説明をご参照下さい。**

**※各種ツールについては、次ページ以降をご参照下さい。**

**※データフォーマットについては、楽器・楽譜業界EDIの概要説明をご参照下さい。**

## 補足1-1. Excelでデータファイルを作成／参照するツールのご紹介

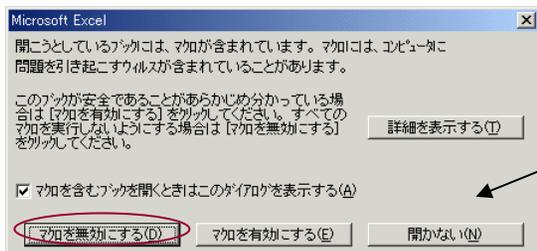
概要: Excelより項目を入力することで、受発注データ、納品データファイルを作成します。  
作成したファイルをJFT/Litelにて送信します。  
また、受信したファイルをExcelに取り込んで参照することができます。



1. インターネットに接続して、下記URLのHPをご参照下さい。  
<http://www.zengakkyo.com/document/1-1.html>
2. 「データファイル作成ツール」をクリックして、ツールを保存して下さい。  
保存先フォルダ : C:¥JFTLite¥tool  
ファイル名 : jftcmakedata.xls

ツール類は、ユーザ様の責任のもと、ご使用いただきますようお願いいたします。  
弊社はユーザ様がこのツール類を使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に関して一切責任を負いません。

## 補足1-2. Excelで送信データファイルを作成するツールのご紹介



1. Excelのファイル(ファイル名 jftcdatafile.xls)を起動して下さい。

2. マクロ形式のため左の画面が起動時に出ますが「マクロを有効にする」をクリックして下さい。

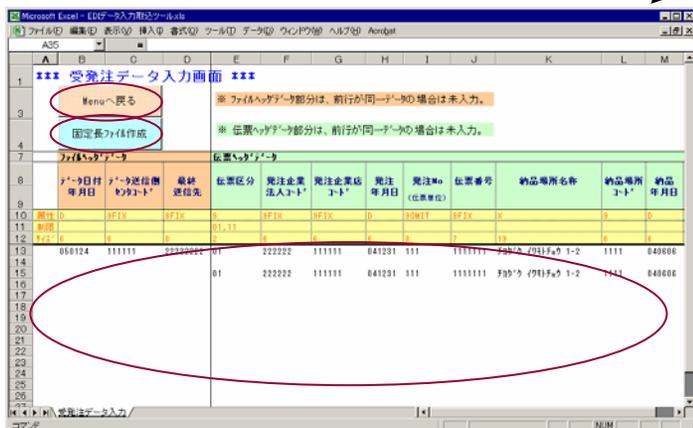
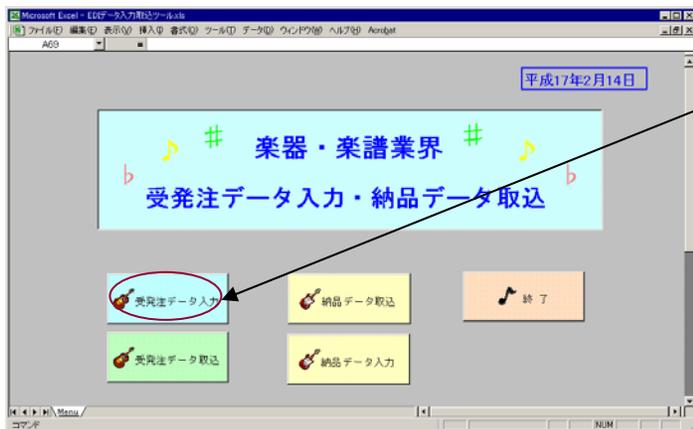
※エクセルのセキュリティレベルが中の場合に出る画面です。  
セキュリティレベルの変更はExcelのヘルプをご参照下さい。



3. 左のような画面が表示されます。各データファイル種類別のボタンをタブをクリックすると、ファイル毎のデータ作成画面に移動します。

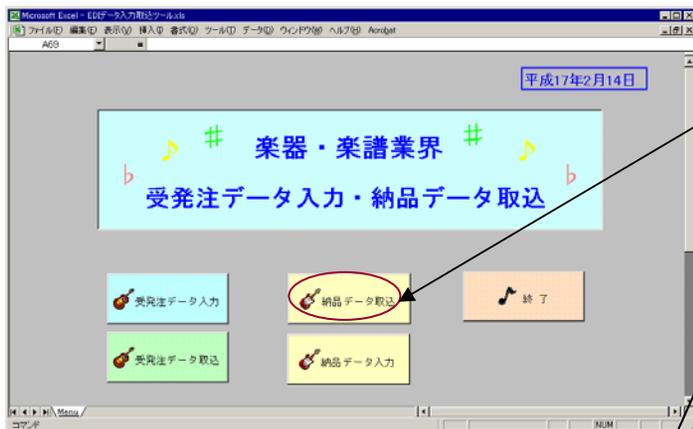
4. 「終了」ボタンをクリックすると、変更箇所を保存してツールを終了します。

## 補足1-3. 発注データファイルを作成する(卸様向け)



1. 画面上の「受発注データ入力」ボタンをクリックし、データ入力画面(下画面)に移ります。
2. 左画面で各項目にしたがって、データ登録内容を入力します。
3. 全てのデータを入力し終わったら、「固定長ファイル作成」ボタンをクリックします。
4. ファイル作成ボタンを押すと、先ほど入力した内容が、C:\¥Centerフォルダに「haccyu\_send.txt」という名前でテキストファイルとして保存されます。  
※入力された全てのデータが1ファイルとして作成されます。  
※入力数が、項目桁数より少ない場合でも、スペースで埋める必要はありません。  
※登録内容のチェック機能はありませんので、正確に入力するよう、お願いいたします。  
※前回作成したファイルが残っている状態で、再度ファイルを作成した場合、ファイルは**上書き**されます。
5. メニュー画面に戻るには「Menuへ戻る」ボタンをクリックします。

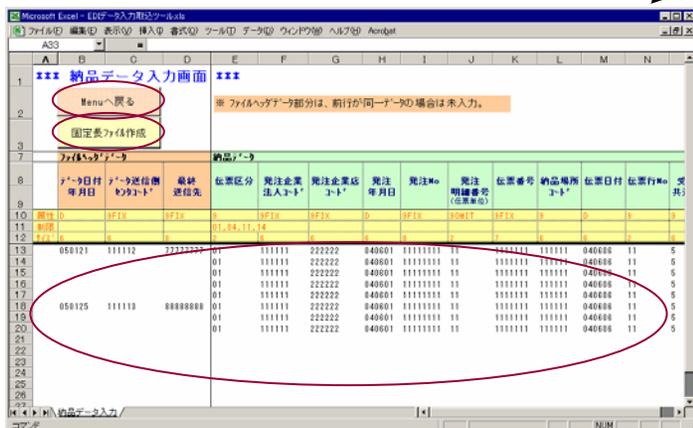
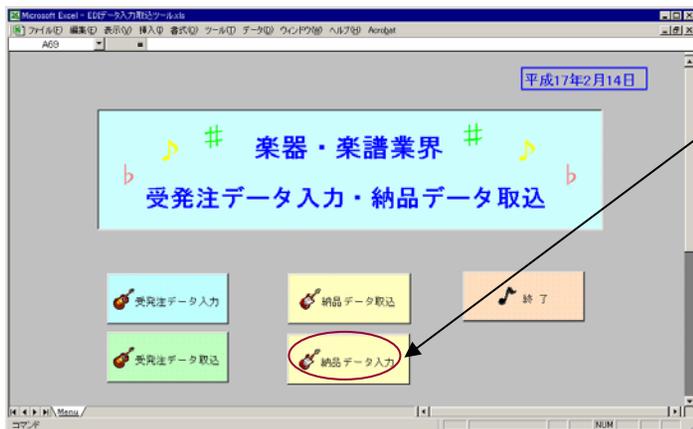
## 補足1-4. 納品データファイルを参照する(卸様向け)



1. 画面上的「納品データ取込」ボタンをクリックし、データ取込画面(下画面)に移ります。
2. 「ファイル取込」ボタンをクリックします。
3. 卸・メーカー様より受信した納品データを、Excel画面の一覧に取り込みます。  
※C:¥Centerフォルダの「nouhin\_recv.txt」というファイルを取り込みます。
4. メニュー画面に戻るには「Menuへ戻る」ボタンをクリックします。

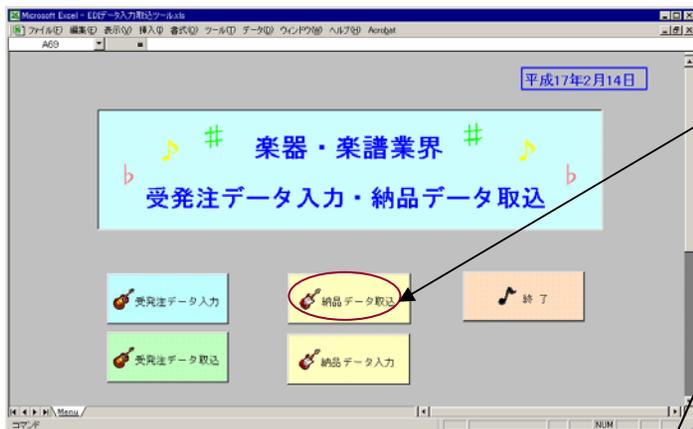
品目区分	品目コード	品目処理年月日	品目処理時刻	品目送付年月日	品目送付時刻	品目	品目送付先	品目送付先	品目種別	品目種数	帳票枚数	余白
10	12	02	0	0	0	021X	X	021X	021X	021X	021X	X
11	02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	A	02	050210	102840	050121	111112	00	77777777	77777777	120	000000	000000
14												
15												
16												
17												
18												
19	A	02	050210	102840	050125	111113	00	00000000	00000000	120	000004	000000
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												

## 補足1-5. 納品データファイルを作成する(卸・メーカー様向け)



1. 画面上の「納品データ入力」ボタンをクリックし、データ入力画面(下画面)に移ります。
2. 左画面で各項目にしたがって、データ登録内容を入力します。
3. 全てのデータを入力し終わったら、「固定長ファイル作成」ボタンをクリックします。
4. ファイル作成ボタンを押すと、先ほど入力した内容が、C:\¥Centerフォルダに「nouhin\_send.txt」という名前でテキストファイルとして保存されます。  
 ※入力された全てのデータが1ファイルとして作成されます。  
 ※入力数が、項目桁数より少ない場合でも、スペースで埋める必要はありません。  
 ※登録内容のチェック機能はありませんので、正確に入力するように、お願いいたします。  
 ※前回作成したファイルが残っている状態で、再度ファイルを作成した場合、ファイルは**上書き**されます。
5. メニュー画面に戻るには「Menuへ戻る」ボタンをクリックします。

## 補足1-6. 発注データファイルを参照する(卸・メーカー様向け)



1. 画面中の「受発注データ取込」ボタンをクリックし、データ取込画面(下画面)に移ります。

2. 「ファイル取込」ボタンをクリックします。

3. 楽器店・卸様より受信した発注データを、Excel画面の一覧に取り込みます。

※C:\¥Centerフォルダの「haccyu\_recv.txt」というファイルを取り込みます。

4. メニュー画面に戻るには「Menuへ戻る」ボタンをクリックします。

レコード区分	レコード種別	レコード処理年月日	レコード処理時刻	レコード付年月日	レコード送信番号	子備	最終送信先	最終受信先	レコード種別	レコード件数	備考	余白
楽器	SP1X	0	0	0	SP1X	X	SP1X	SP1X	SP1X	SP1X		X
楽譜	SP1	0	0	0	SP1		SP1	SP1	SP1	SP1		X
楽器	SP1	0	0	0	SP1		SP1	SP1	SP1	SP1		X

## 補足2-1. 受信データファイルに改行を付加するツールのご紹介

概要: JFT/Liteにてファイルを受信した際に、改行文字で区切られていない128バイトのファイルに、改行文字を付加して、レコード毎にデータを参照できるようにします。



1. インターネットに接続して、下記URLのHPをご参照下さい。  
<http://www.zengakkyo.com/document/1-1.html>
2. 「改行コード付加ツール」をクリックして、ツールを保存して下さい。  
保存先フォルダ : C:¥JFTLite¥tool  
ファイル名 : AddCrLf.lzh
3. ダウンロードしたファイルを、ファイル解凍ツール (Lhasaなど) で上記フォルダに解凍して下さい。  
※以下のファイルが展開されます  
・AddCrLf.exe  
・AddCrLf.txt
4. JFT/Liteの設定を行います。  
(次ページをご参照下さい)

※上記設定で 指定したフォルダに改行コードが付加されたファイルが出力されます。

## 補足2-2. 受信データファイルに改行を付加するツールのご紹介

The screenshot shows the JFT/Lite software interface. The main window has a menu bar with options like 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'システム運用(S)', '業務運用(B)', and 'ヘルプ(H)'. Below the menu is a toolbar with buttons for '着信登録', '発信登録', 'ステータス更新', '状況照会', 'ログ照会', 'クリーンナップ', and 'ヘルプ'. The main area is divided into several panes. On the left, there's a '相手先' (Partner) pane showing '楽器・楽譜業界EDI'. In the center, there's a 'ファイル' (Files) pane showing a tree structure with folders like '集信' and '配信', and files like '自 納品データ受信' (highlighted with a red box) and '自 発注データ送信'. On the right, there's a table with columns for '登録ファイル名', 'ステータス', and 'JOBステータス'. A yellow callout bubble points to the '自 納品データ受信' file with the text: "発注データ受信"または"納品データ受信"を右クリックして「更新」を選択して下さい。 ※下のような画面が表示されます。 Below this, a 'ファイル情報' (File Information) dialog box is open. It has a 'ファイル名' field with '納品データ受信' and a '実行タイミング' (Execution Timing) section with radio buttons for 'ファイル成立時' (selected) and '登録時'. There are also fields for 'コマンド' (C:\JFTLite\tool\AddCrLf.exe) and 'パラメータ' (%f 改行コードを付加したファイル名(※) 128). A red circle highlights the 'OK' button at the bottom of the dialog. Another yellow callout bubble points to the 'OK' button with the text: 実行タイミング:ファイル成立時  
コマンド :C:\JFTLite\tool\AddCrLf.exe  
パラメータ :%f 改行コードを付加したファイル名(※) 128  
※集信したファイルとは別のファイル名を指定して下さい。

※**タブ**を押し「後続連携」の項目について設定を行います。

# ライセンスキー取得方法

## 1. JFT/Liteライセンスキー取得方法について

**JFT/Liteのライセンスキーをご希望の場合には、全国楽器協会殿へご連絡下さい。**

全国楽器協会殿を通じ、弊社(株式会社ビック東海)よりお客様へご連絡させていただきます。

※ライセンスキー取得は有償となりますのでご了承下さい。

※購入価格につきましては、全国楽器協会殿へお問い合わせ下さい。

## 2. ご連絡内容について

①弊社よりご連絡させていただく際、下記内容をご確認させていただきますのでご了承下さい。

※ご確認内容「**会社名、部署名、担当者名、住所、電話番号、e-mailアドレス、ライセンス数、使用OS、  
CD-ROM必要の有無(別途有償)**」

②ご確認から1週間以内に弊社よりライセンスキーと請求書を発送させていただきます。

③弊社より送付しましたライセンスキーを20ページの「ユーザ登録」での画面に入力いただければ、そのまま正規製品版としてお使いいただけます。

## 3. 弊社窓口について (平日9:30~17:30、土日祝日および年末年始は除く)

**株式会社ビック東海 システムイノベーションサービス本部 SI事業部 東京営業部**

①営業窓口 ソリューショングループ [担当]赤堀、設楽

TEL 03-3864-3491 FAX 03-3864-3498 E-mail: jft-info@victokai.co.jp

②製品技術窓口 プロダクト課 JFT/Liteサポート担当

TEL 03-5687-3119 FAX 03-5687-3125 E-mail: jft\_question@victokai.co.jp